

【こどもまつり 2020 団体紹介⑦】

まちなか手芸部



まちなか手芸部 Facebook(活動紹介中心) : <https://www.facebook.com/machinakashugeibu/>

まちなか手芸部 Instagram(作品紹介中心) : https://www.instagram.com/machinaka_2015



<まちなか手芸部とは>

-タンスに眠る着物を再び世の中へ-

「まちなか手芸部」は、「タンスに眠る着物を再び世の中へ」というコンセプトで、活用されていない着物を再び役立つものへ循環させるべく、主にフォーマル衣装へのリメイクとレンタルを行っています。
女の子のワンピース＆ボレロや、男の子のスーツ＆ベストが人気です。

リメイク衣装は、和柄を活かしつつも、あまり着物だったことは意識せずに着られるような洋装中心に制作しています。
これからの時期ですと、例年卒入園式や入学式用でのレンタルが多いです。



モノ × リメイク = 笑顔 × 想い出
着物レンタル2021/春 入学
モアリ-MoreRe- produce by まちなか手芸部



「まちなか手芸部」のリメイク作品を着用した子ども達。

みんな笑顔が素敵です

<いつ、どこで、どのような活動をしていますか?>

-制作の他、ファッションショーや撮影会などのイベントも積極的に行ってています-



子育て世代から70代くらいまで、幅広い年代の会員約10名で主に活動しています。



毎週火曜日の午後に十日町市内のアトリエにて、リメイク衣装の制作を行っています。

アトリエでは、制作作業だけでなく、お子さんを連れてお茶を飲みに来たり、イベントの企画でいらっしゃる方もいて、色々な年齢層の方が集まっての子育てをする親同士の情報交換や交流の場にもなっています。



リメイク衣装のファッションショーのようす。

また例年は、年に数回ほど、リメイク衣装のファッションショーや、撮影会などのイベントも積極的に行ってています。

昨年はあまりイベントができませんでしたが、秋に十じろうで開催された、「とおかまち市民活動見本市めっかめっか」では、リメイク衣装や撮影会での写真などの展示を行い、沢山の方々に見ていただきました。

<昨今の新型コロナウイルス感染症禍において、貴団体へどのような影響がありましたか？>

- ファッションショーができず残念でしたが、新たな企画への発想の転換も -

例年行っているファッションショーが開催できなかつたことが大きいです。

ただ、全くイベントを中止するのではなく、どうしたらできるかと考え、

極少人数の関係者のみに参加を絞って、自分たちでリメイクした

衣装を着用しての食事会と撮影会を企画し実施したところ、とても

好評でした。

撮影会での写真も、プロに依頼したことでの後様々なところで宣伝
に使えるなど、良い結果となりました。

もちろん、様々なイベントが中止や延期になり残念なことが多かったの
ですが、撮影会のような新しい試みができ、良い発想の転換の機会
でもありました。

子ども達の様子としては、新しい生活様式に比較的早く順応して
いるように感じています。

ただし、普段の学校生活や行事などにおいて制限されることが多く、
これまで当たり前にできていた、スキップやコミュニケーションが
減っているように見え、それが子ども達に今後どの位影響が出るのか
分からず、心配しています。

また、マスク越しでの会話だとなかなか表情が伝え合えず、反応が
しづらい/鈍いように感じてしまいます。

早くマスク無しで会話できるようになってほしいです。



studio HATOYA

撮影会での 1 枚①

<貴団体では新型コロナウイルス感染症についてどのような対策を実施／予定していますか？>

- 一通りの対策をしつつ、コミュニケーション不足にならないよう気を付けています -



着物生地を使ったシルクマスクの一部。

要望を受けて男性向けを意識した柄も作り始めました(写真右下)

- ・マスク着用、適度な間隔を空ける
- ・こまめな手洗い(使い捨てペーパータオル使用)および消毒
- ・一定時間おきの部屋の換気

など、一通りの対策は実施していますが、密にならないように
気を付けつつ、みんなで楽しくおしゃべりしたり笑ったりすることで
モチベーションを上げ、免疫力 UP をすることも大事だと思って
います。

また、「コロナウイルス対策助成金」のおかげで、必要な消毒用品
や非接触式温度計などを購入することができて、イベントなどで
とても助かりました。

最近では、着物リメイクの技術と経験を活かし、着物生地を使った
シルクマスクの制作も行っています。

<今後の活動について展望をお聞かせください>

-もっと活動を PR できるよう、積極的に情報発信していきたい-

まだまだ不特定多数の方に向けたイベントの開催が厳しい状況なので、今後はファッションショーに拘らず、昨年実施したような形態での撮影会の開催を中心に、もっと「まちなか手芸部」の活動の PR ができるよう、情報発信を行っていきたいと考えています。

活動メンバーも隨時募集しています。

洋裁のできる方だけでなく、子育て中の方や「まちなか手芸部」の活動に興味のある方など、年齢は問いません。

ぜひ、仲間に入りませんか？

まずはお茶のみがてらの参加からでも OK です。



撮影会での 1 枚②

「まちなか手芸部」のメンバーもリメイク衣装を纏って

また、ファッションショーや撮影会などのイベントで、撮影を担当していただける方や、動画撮影/編集をやっていただける、という方も募集しています。

<次回開催のこどもまつりについて、何か要望やご意見等ありましたら教えてください>

- 参加できない団体にも発信の機会を -



女の子用桜色のフォーマル衣装を真ん中に囲んだ、

「まちなか手芸部」の皆さん in アトリエ

後ろにあるのは全てリメイク衣装です、沢山の素敵な衣装に囲まれつつ、

色々なお話を伺いすることができました

(向かって右端の方が代表の久保田さん)

「まちなか手芸部」としては、当日レッドカーペットを敷くことができ、着替えるスペースがあれば、どこでもファッションショーはできると思いますが、イベントの写真が撮りやすいところだと嬉しいですね。

イベント自体に関してだと、全体を見通して助言をもらえるようなアドバイザーを招くのはどうでしょうか？

例年参加している子育て関連の方々以外の視点や意見が入ることで、より良いイベントになるかと思います。

また、まだまだイベントには参加しづらい、と考えている団体も多くあると思いますが、そういう団体も、「こんな団体があります」や、「こんな活動をしています」といったような情報を、当日参加する団体と同様に何かしらの形で発信できるといいなと思います。

今年度の「とおかまち市民活動見本市めっかめっか」のような展示をするのであれば、こどもまつり当日だけなく、ぜひその前後数日間継続して展示ができると嬉しいですね

<まちなか手芸部からのメッセージ>

-リメイク衣装について、お気軽にお問合せください-

これからの時期は、卒入園/入学シーズンで、お子さんも
フォーマルな衣装に袖を通す機会が増えるかと思います。

リメイク衣装のレンタルは随時受け付けています。
事前試着(日程要相談)できますので、気になりましたら、
ぜひ下記までお気軽にお問い合わせください。

久保田果奈子
090-9018-5341



撮影会での1枚③